

Spectee、グローバル・サプライチェーンのリスク管理サービス『Spectee SCR』を大幅拡張

～～世界のリスク情報を詳細な位置情報まで取得し、影響製品のリスト化までを完全自動化～

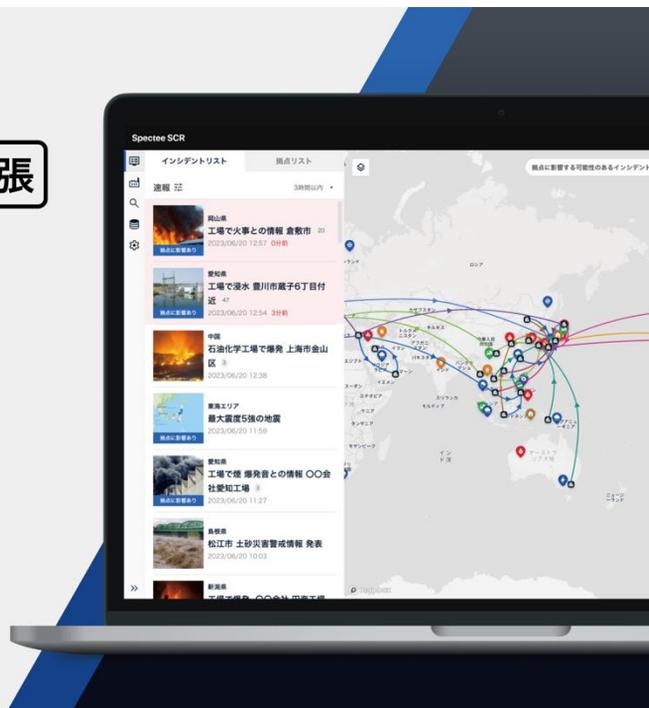
防災テックスタートアップの株式会社Spectee（東京都千代田区、代表取締役：村上建治郎、読み：スペクティ、以下「Spectee」）は、サプライチェーン・リスク管理サービス「Spectee Supply Chain Resilience」（以下、『Spectee SCR』）における、グローバルなサプライチェーン・リスク情報を一元管理する機能を大幅に拡張したことをお知らせいたします。

サプライチェーン・リスク管理サービス

Spectee SCR 機能拡張

◆ 世界中のリスク情報を
詳細位置まで取得

◆ 影響がある製品を
自動リスト化



■ サプライチェーン・リスク管理のこれまで

気候変動や地政学的リスクの増大により、企業が直面するリスクは多様化・複雑化しています。こうした不安定な環境下で、危機発生時に自社のサプライチェーンへの影響を迅速に把握することは、事業の安定的な継続に不可欠です。

しかし、製造業の多くでは、リスク発生時にインターネットやテレビ報道から最新情報を集め、サプライヤーに電話やメールで被害状況を確認し、その結果をエクセルなどで集計・報告するなど、大量の工数と時間を要しています。さらに、夜間や休日の突発的なリスクにも即応する必要がある一方で、属人的になりがちで担当者の対応力に多く依存してしまう問題もあります。

こうした課題を解決するため、『Spectee SCR』では世界中のリスク情報の一元管理機能を大幅に強化し、あらゆる状況下でも的確かつ迅速なサプライチェーン・リスクの可視化を可能にしました。

問い合わせ先

株式会社Spectee 広報担当：平川

TEL：03-6261-3655 MAIL：press@spectee.com

■『Spectee SCR』の機能とアップデートについて

今回のアップデートにより、**日本国内だけでなく世界中のリスク事象が発生した際の情報を一元管理し、影響製品を自動的に把握することが可能**となりました。

具体的には、**自社拠点における被災の有無の特定、アンケートを活用したサプライヤー拠点への最新状況の確認、生産に影響を与える製品のリスト化までを自動化し、迅速かつ正確な対応を可能**にします。

これまで ...



ニュースを見る



発生地域周辺の
拠点を調査



拠点に情報連絡確認



状況を Excel に記入



まとめたものを報告

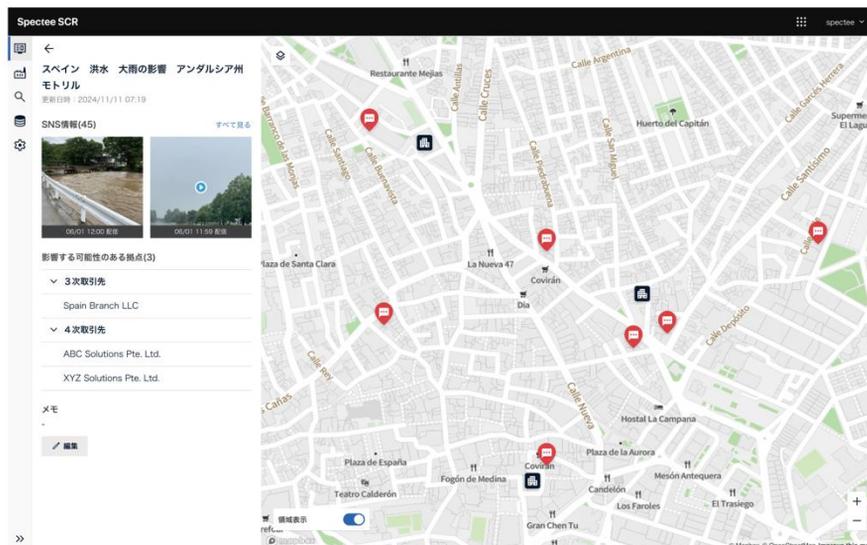
Spectee SCR を使うと



リスク覚知から影響製品リスト化までを自動化



・グローバルで発生するリスクの詳細な位置情報と影響するサプライヤー拠点の特定



世界中のリスク情報を詳細な位置情報まで取得し、世界各地のローカルニュースや気象データ、地震等の災害情報などに基いて被災拠点を絞り込むことも可能です。リスク情報に関連する拠点を自動で検知し、通知や地図上での可視化を通じて、迅速かつ的確な対応をサポートします。

問い合わせ先

株式会社Spectee 広報担当：平川

TEL : 03-6261-3655 MAIL : press@spectee.com

・被災可能性があるサプライヤー拠点へアンケートを自動送付

被災の可能性があるサプライヤー拠点に対して、自動でアンケートを送付します。これにより、拠点の最新のステータスを一覧表示し、迅速な状況把握が可能となります。

・自社の生産に影響を与える製品のリスト化

発生したリスク事象やアンケートの回答結果などを自動的に集計し、影響を受ける製品をリスト化します。これにより、正確性と速報性を向上させながら、対応に必要な工数を大幅に削減します。

■今後のアップデートについて

今後は、サプライヤーを巻き込むことで、さらに深層のサプライヤー情報の可視化を可能にし、サプライチェーン全体を網羅的に把握できるような機能の追加を予定しています。これにより、危機発生時の影響範囲をより正確に把握し、迅速な対応が可能となることで、企業のサプライチェーン・レジリエンス向上に貢献していきます。

■サプライチェーンの危機を可視化する『Spectee SCR』

『Spectee SCR』は、サプライチェーンに影響を与えるあらゆる危機を瞬時に可視化するサプライチェーンリスクマネジメントプラットフォームです。

SNS・気象データ・全世界のローカルニュースや地政学リスク情報などさまざまな情報をもとに、インシデント発生によるサプライヤー周辺で起こる危機をリアルタイムに覚知し、お客様のサプライヤーの被害状況や製品への影響、納期の遅れなどを迅速に把握することが可能になります。



『Spectee SCR』サービスサイト（サービス詳細やお問い合わせはこちら）

<https://spectee.co.jp/service/specteescr/>

■株式会社Spectee（スペクティ）について

「“危機”を可視化する」をミッションに、SNSや気象データ、カーナビ情報、道路・河川カメラなどのデータから災害やリスク情報を解析し、被害状況の可視化や予測を行っています。

AIリアルタイム防災・危機管理サービス『Spectee Pro』は、世界で発生する災害や危機を、迅速に収集、可視化、予測することができ、災害対応や危機管理などを目的に、全国の自治体、報道機関、インフラ会社、メーカー、物流、商社などに導入いただいています。契約数は2024年7月に1000を突破しました。

また、製造業向けのサプライチェーン・リスク管理サービス『Spectee Supply Chain Resilience』は、サプライチェーンを見える化するとともに、サプライヤー周辺で起こる危機を瞬時に覚知し、被害状況や製品への影響、納期の遅れなどを迅速に把握することが可能になります。

<会社概要>

本社：〒102-0076 東京都千代田区五番町 12-3 五番町YSビル 3階

代表者：代表取締役 CEO 村上 建治郎

設立：2011年11月11日

公式サイト：<https://spectee.co.jp>

問い合わせ先

株式会社Spectee 広報担当：平川

TEL：03-6261-3655 MAIL：press@spectee.com